

近畿[※]における麦生産をめぐる状況



令和8年3月
近畿農政局 生産部 生産振興課

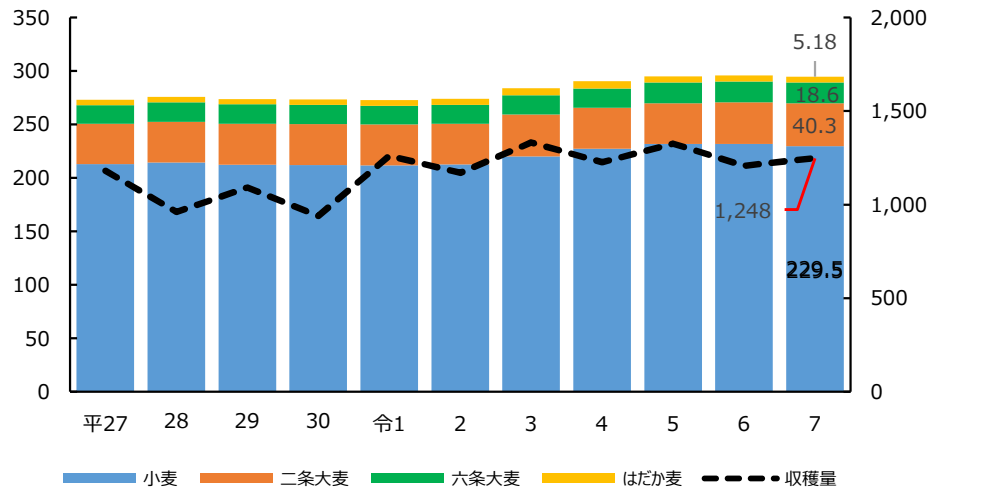
※本資料において、「近畿」は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県を指します。

近畿における4麦（小麦・二条大麦、六条大麦、はだか麦）の作付面積・収穫量

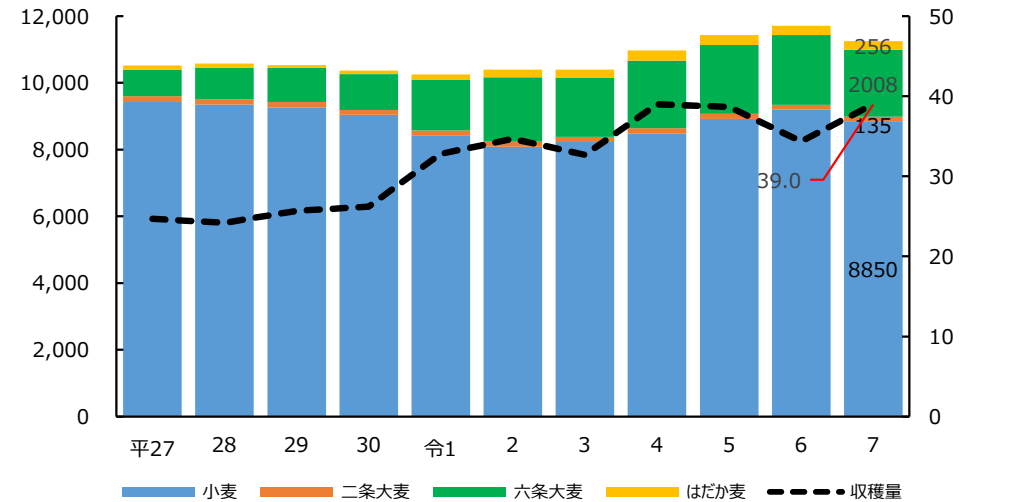
4麦の作付面積は、全国、近畿とも、横ばいで推移していましたが、近年微増傾向にあります。近畿の令和7年産の作付面積は11,200ha（小麦：8,850ha、二条大麦：135ha、六条大麦：2,008ha、はだか麦：256ha）で、全国（293,600ha）の4%となっています。

令和7年産の4麦の収穫量は39,000トンで、全国（1,248,000トン）の3%となっています。

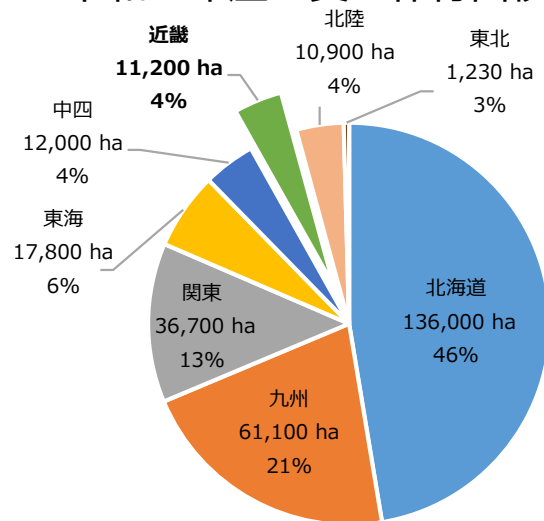
(千ha) 4麦の作付面積及び収穫量の推移（全国） (千トン)



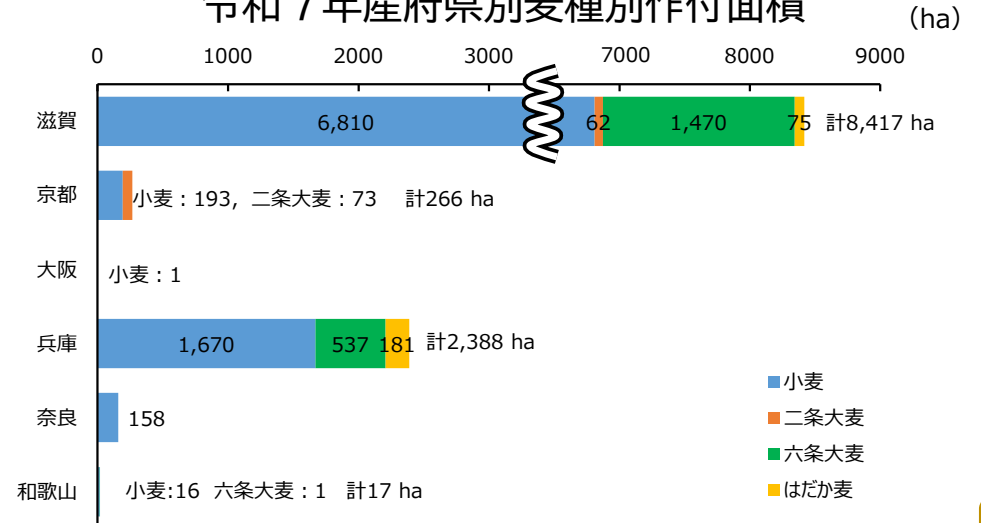
(ha) 4麦の作付面積及び収穫量の推移（近畿） (千トン)



令和7年産4麦の作付面積割合



令和7年産府県別麦種別作付面積

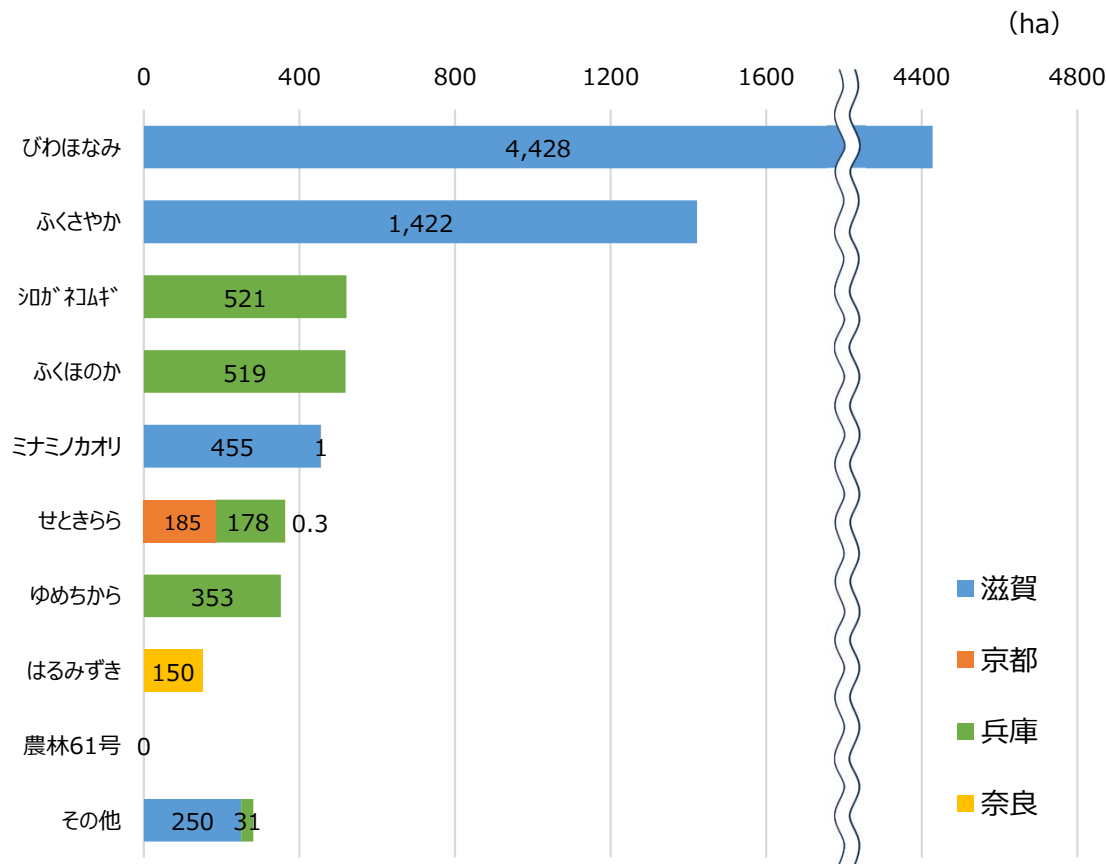


近畿における小麦の品種別作付状況

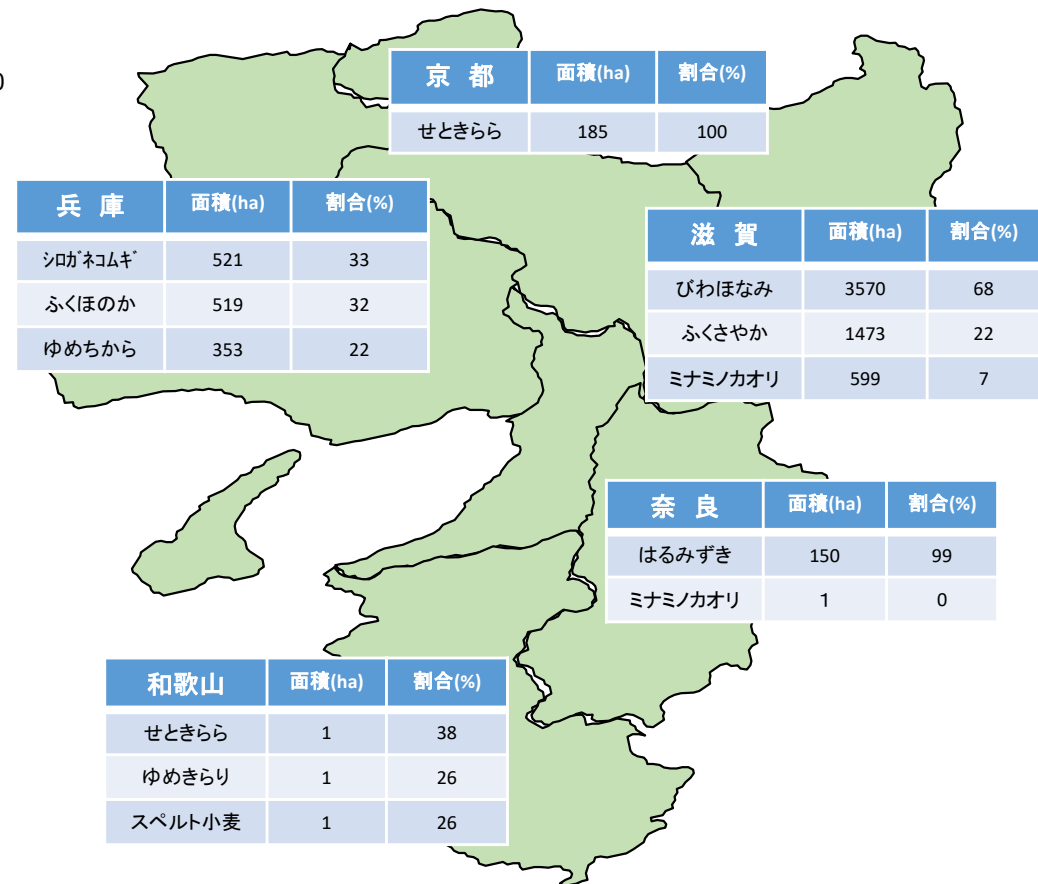
令和7年産の小麦を品種別にみると、「びわほなみ」が4,428ha、「ふくさやか」が1,422ha、「シロガネコムギ」が521ha「ふくほのか」が519haと、この4品種で8割を占めています。

滋賀県では、「農林61号」から「びわほなみ」への転換を進めており、令和7年産「びわほなみ」の作付面積は、4,428haとなっています（「びわほなみ」県内シェア：0.1%（H30年産）→68%（R7年産））。

令和7年産 品種別・府県別の小麦の作付面積

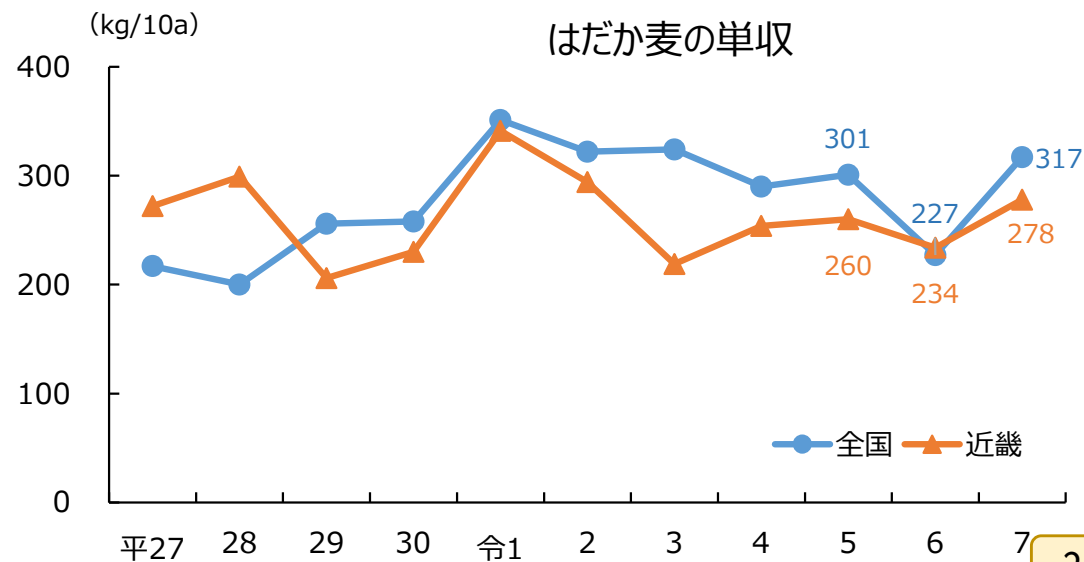
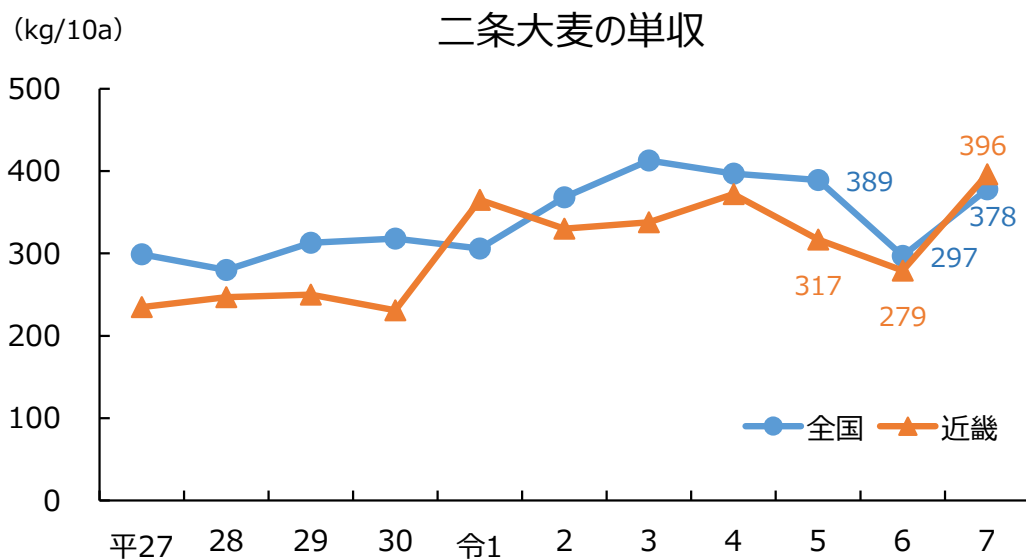
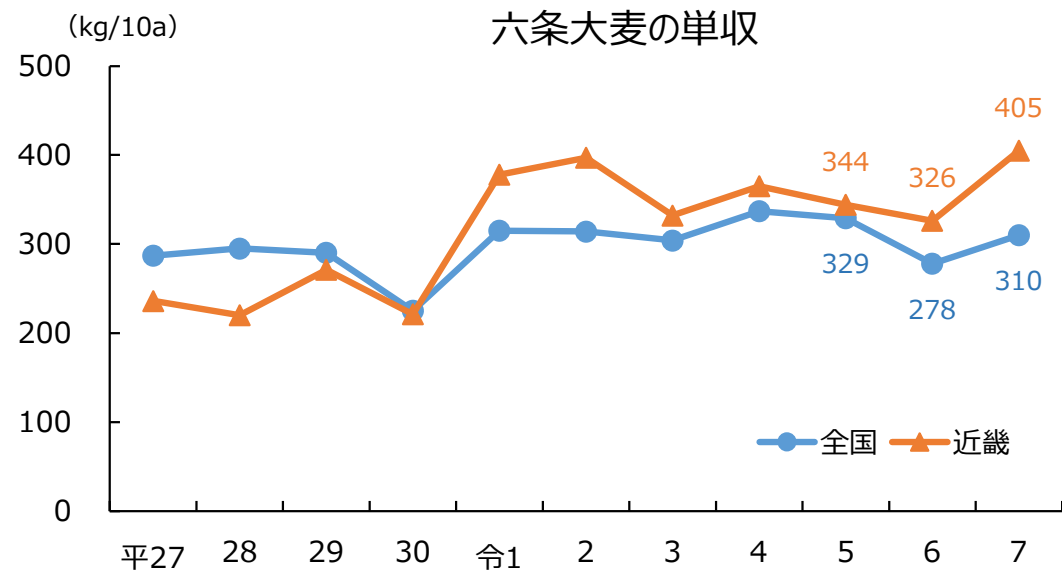
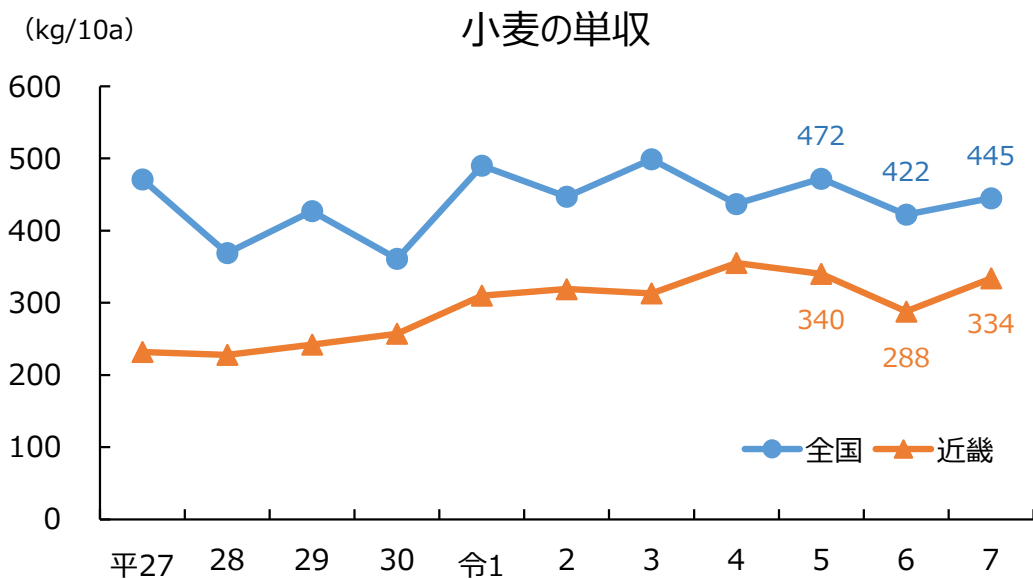


令和7年産 小麦の主要品種の作付割合(近畿地域)



近畿における4麦の単収の推移

令和7年産の近畿の麦の単収は、小麦334kg/10a、二条大麦396kg/10a、六条大麦405kg/10a、はだか麦278kg/10aで、六条大麦と二条大麦は、全国（六条大麦：310kg/10a、二条大麦：378kg/10a）より高くなっています。



近畿における小麦の農産物検査 1 等比率の推移

令和 6 年産の近畿の小麦の1等比率は73.3%となっており、令和 5 年産に比べて増加しましたが、全国（87.1%）を下回っています。

小麦の1等比率の推移

